

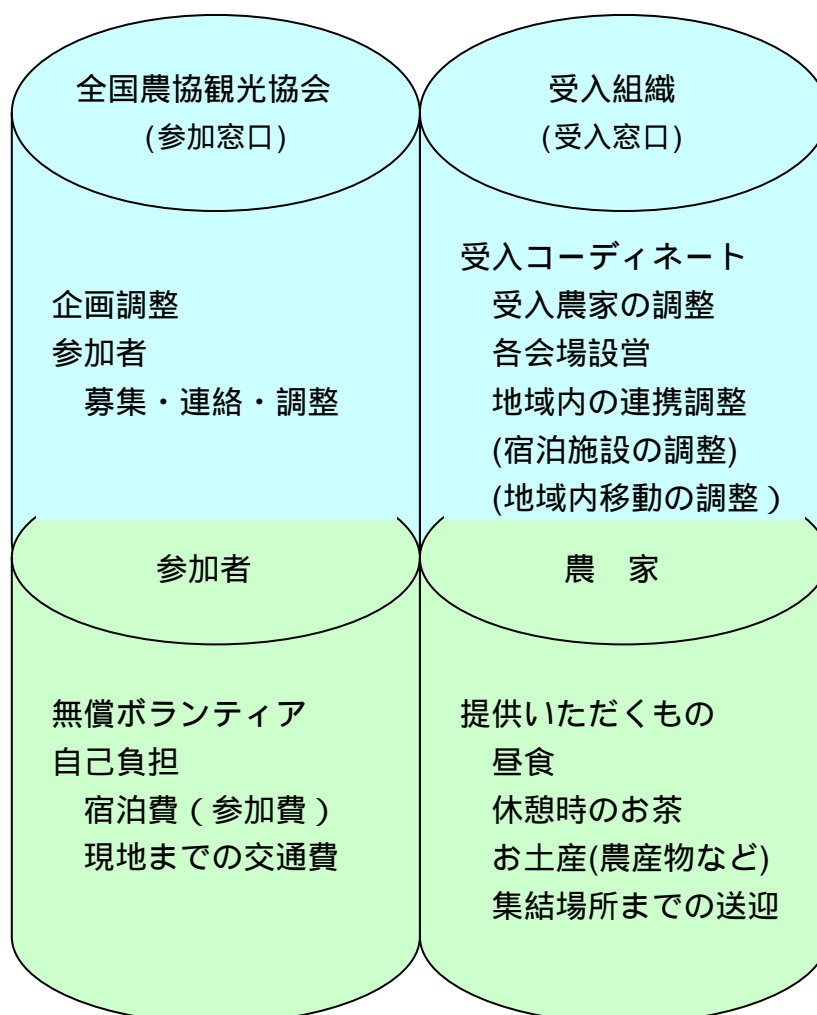


社団法人全国農協観光協会

目的

都市住民を対象に過疎化、高齢化が進む農山村の生産農家で一時的な労働力不足が見込まれる時期に農作業の支援を行うことにより農産物生産の現状を認識し、あわせて農山村の実生活を体験することにより、農業に対する理解を深め、都市と農村の交流を促進することを目的とし、さらには農山村の景観保全ならびに農地保全に寄与します。

快汗！猫の手援農隊援農隊のシステム



これまでの取組

実施年	事業名	実施場所	作業内容
11年～20年	八色西瓜収穫隊	新潟県南魚沼市	西瓜の収穫作業
14年～	りんご総採り 収穫隊	長野県中野市	りんごの収穫作業
15年～20年	八色西瓜 つるったぐり隊	新潟県南魚沼市	収穫後の西瓜畑の整理作業
15年～	りんご摘果隊	長野県中野市	りんごの摘果作業
16年	スノーキャロット 収穫隊	長野県飯山市	雪下ニンジンの収穫作業
16年～	温州みかん 総採り収穫隊	千葉県鴨川市	温州みかんの収穫作業
17年～	梅もぎ収穫隊	宮城県蔵王町	梅の収穫作業
19年～20年	花摘み隊	神奈川県秦野市	ラナン、アネモネ等、球根 生産のための摘花作業
21年～	しいたけ駒打ち 援農隊	茨城県常陸大宮市	椎茸の植菌作業

これまでの参加員数累計 2780名（平成21年3月）



八色西瓜収穫隊・つるったぐり隊



りんご摘果隊・総採り収穫隊



梅もぎ収穫隊



温州みかん総採り収穫隊



花摘み隊



しいたけ駒打ち援農隊

期待される効果

参加者

消費者の立場で農家を支援することによって生産現場を体験し、食の安全・安心の一助となることへの充足感。
農作業による心身のリフレッシュ
交流による社会観、人生観の広がり。
安心な農産物の入手

農家

労働時間の短縮
交流による援農者およびその周辺への販路拡大
耕作地の維持、遊休農地の活用
農業への意欲向上



市町村

荒廃農地対策
交流による経済効果
住民サービスの向上
定住促進効果

J A

農産物の出荷量維持、拡大
交流による地域農産物の普及拡大
組合員サービスの向上と
J Aの求心力強化
他事業への波及効果拡大

援農隊参加者・受入関係者のアンケートから読み取れる効果

快汗！猫の手援農隊の特徴

地域特産の農産物の作業をお手伝いします。

都市住民に援農隊を広報することにより、産地をアピールできます。

参加者は単なる賃金無料の作業員ではありません。農業や農村生活に興味を持ち、交流を大切に考えています。

例えば、草刈りだけのための援農受入は避けてください。

一緒に作業しながら作業指導をお願いします

休憩時の会話も大事な交流要素です。

昼食は簡単なものでも構いませんが、自家農産物などを使用した手作りに感謝します。

参加者と農家、地元関係者が集う交流の場を設けてください。

参加者の受入は1農家につき、2～5名がちょうどよい人数です。

特定の農家にかたよることなく、地域で広く受け入れてください。雨天でも作業をします。

目的の作業ができない状況の場合は代替えの作業をお願いします。

作業着は参加者が持参します。農具類は農家でお貸しください。

りんご摘果隊の事例

こんにちは！ **ふるさと倶楽部** です！！

体験交流・企画をご紹介するページです



援農企画のご案内

長野県中野市

第7回 りんご摘果隊・第8回 りんご総採り収穫隊

～自然豊かな日本のふるさと・唱歌『故郷』の地～



青空の下、ひとやすみ



ほんとうにいい笑顔ですね



摘果前の実

中野市の概要

平成17年4月に豊田村と合併して誕生した新「中野市」は、面積は112.06km²で人口は約4万6300人の都市です。斑尾山・高社山などを育に千曲川・夜間瀬川などが流れ、河岸段丘や扇状地、穏やかな傾斜地に集落が発達しています。

中野市は「故郷」「紅葉」「臘月夜」などの作詞家としても名を残した国文学者高野辰之の故郷であり、温かな表情をした土びなの里としても知られ、北信州の文化をリードし続けています。

また中野市は農業が盛んで、リンゴ・ブドウは全国でも有数の品質と生産量を誇り、開発者精神と高い技術力がエノキタケや巨峰、アスパラガスなどを付加価値の高い商品へ成長させました。なかでもエノキタケは日本一の生産量を誇り、全国の3割程度、長野県の約5割を占めています。

援農ボランティア「快汗猫の手援農隊」

社団法人全国農協観光協会は、都市農村交流促進と地域の活性化に資するため援農隊の拡大に努め、グリーン・ツーリズム受け入れの先進地であるJA北信州みゆきを窓口の中野市（旧豊田村）と連携しながら平成14年に快汗！猫の手援農隊「りんご総採り収穫隊」を開始し、生産農家の理解と参加

者の反応にも手ごたえことから、摘果作業を「りんご摘果隊」もた。受け入れ農家、参加がよく参加応募数も年々増えます。今年もりんご摘果総採り収穫隊を実施。なお、りんご総採りより30名増やして15名です。ぜひこの機会にぜひのうえ、ご参加くだ

＜リピーターのみな様へ＞
ご応募の際、受け入れ農家さんの指定希望は各農家さんの受け入れ希望人数や全体的バランスの調整などでご希望にお応えできない場合がございますので、ご了承ください。

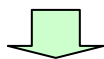


広報誌「ふれあい」等により告知

集合から解散まで



集合場所はＪＡの支所。最寄りの駅はＪＲ飯山線「替佐駅」



駅からＪＡまでは徒歩３分
マイカー参加者もＪＡに集合



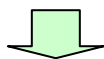
参加者、受入農家、事務局など全員
集合します。

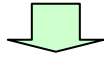


会場では受入農家ごとに席割りし、参
加者と農家が対面します。

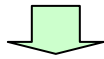


オリエンテーション
・行政、ＪＡなどから歓迎の挨拶
・期間中の諸事項を案内



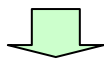


J Aの技術員より農作業の概略を説明します。

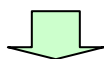


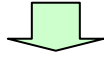
着替えを済ませ、受入農家の車で各農家の圃場へ移動します。

圃場では、その農家の作業方法を詳しく説明をしてから作業開始。

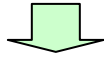


農家も評価する熱心な作業ぶり



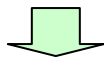


農家との会話も弾む休憩時間。



作業終了。各農家の車で合流場所へ向かいます。

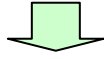
合流場所には宿のマイクロバスが迎えに来ます。



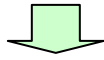
宿に泊って、翌朝、マイクロバスで合流場所へ

合流場所では農家が迎え、各農家の車でそれぞれの圃場へ

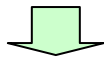




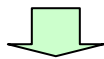
雨が降ればカッパ姿で作業をします。

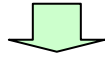


昼食は各農家のご厚意で



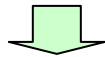
夕方、作業終了後、各農家単位で地元の温泉施設（交流会場）へ集結。入浴後、交流会開催。



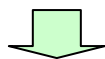


参加者と農家の親交が深まる交流会

お開き後は宿のマイクロが出迎え。
宿に泊って、また翌日も農作業。



最終日は昼まで農作業。
農家で昼食をいただき、解散。



各農家の車で最寄駅まで送っていただき、お別れです。

スケジュール

日程	時間	概要	食事
1日目	13:15	JA 北信州みゆき南部支所 会議室集合	
	13:15 ~ 14:00	オリエンテーション・着替え	
	14:00 ~ 17:00	各受入農家でりんご摘果作業、他農作業 宿泊先（民宿）へ移動	
	19:00	宿にて夕食	夕食
2日目	7:00	宿にて朝食	朝食
	8:00	替佐、上今井地区へ移動	
	8:30 ~ 17:00	各農家にてりんご摘果作業、他農作業 昼食は各農家にて	昼食
	17:30	交流会場（もみじ荘）へ移動 もみじ荘にて温泉入浴	
	~ 20:00	夕食は農家、地元関係者と交流しながら	夕食
20:00	宿泊先へ移動		
3日目	7:00	宿にて朝食	朝食
	8:00	替佐、上今井地区へ移動	
	8:00 ~ 12:00	各農家にてりんご摘果作業、他農作業 各農家にて昼食後解散	昼食

農作業の内容は各農家の状況によって決まります。
 各時間帯は農家の作業状況により変更されることがあります。
 農作業は原則として雨天でも実施。但し、作業内容が変更される場合があります。
 地域内の移動は地元関係者により送迎します。（マイカーの方は初日と最終日は各自の車で移動）
 昼食は各農家のご厚意によるものです。

実施システム

